




いちごのおはなし

きょうは みんなで いちごりに やってきました。
つみたての いちごの おいしいこと といたら！
おにいちゃんも みんなより おおきないちご を
さがそうと しているようです。



おかあさんが おみやげようの いちごを つんでいるあいだ
いちごたちは そとのベンチで ひとやすみ。
おとうさんは うとうと しています。
すると 「おにいちゃん！」
いちごが ひそひそこえて いました。

「あ!!!」
あの くらねこです。
「ねこ つまみぐい!!」
いちごは うふふと わらっています。

「つまみぐいじゃなくて
けんきゅう さ。」
そうって くらねこが
えだを さつ と ふると
ビニールハウスに え が
うかびあがりました。

もおかのいちごの
けんきゅう(くらねこしずべ)

はる ☀



たいせつ

←「たいようのみがり」
もおかは
ほれのじかんが
ながい



たいせつ

←「ちがすい」が
たくさん
あること

なつ ☀

🌱「なえ」をそだてる 🌱



のびた うる をきりはなして
「なえ」をそだてる
ひやしたりして、ふやに
いちごがみのるようにする

あき 🍁

ハウスに
「なえ」を
うえる。



つちを
ビニルで
おおう



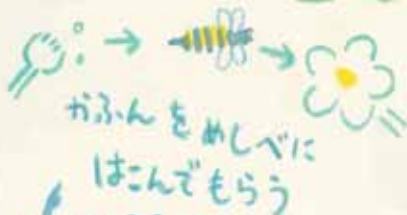
つちのおんどを
たもつよ



「わあ! すごい! ...なにになに?」
おにいちゃん は せつめいを
よみはじめました。

ふゆ

ほながさいたら
ミツバチのぞばん



「じゅぶん」といいます。



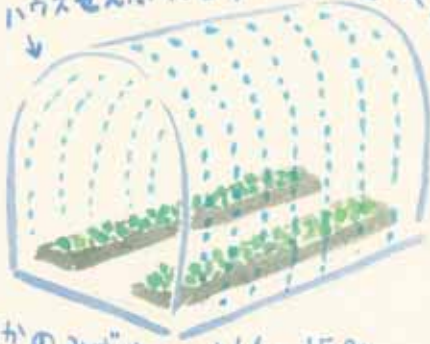
いちごが
みのる!!

すごいひみつ



ホーホーカーテン

ハウスせんたいりにみずのカーテンをつくる



ちかのみずは、いつも14~15℃
だからさむいふゆのみでも
こうするとあたたかいんだよ。
(かんきょうにも、いいんだって!)

こうして

いちごは、にほん
ぜんこくへ。



これはしってるよね
もあかは、にほんで
いちばんたくさん
いちごをうらっているよ!



まだあるひみつ



さしのたがさの
いちごばたけ



たたまま
いちごがめる!

ずっとしがんでしごとを
するの、すくたいんなんたいて、
にんげんは、いろんな
くふうをするね。

「みつばちが おてつだいしているんだあ。」
「にほんいち、すごーい。」
ねこは じまんげに いちごを
たべています。
「ふむふむ…」
どんどん よみすすめていくと…

どんっと なにかに
ぶつかりました。
めを あけると
そこには





まっかで つやつやです！

「いちごだ！」



「あ！ おじさん ごめんなさい。」

おじさんは にっこり。

「だいじょうぶだよ。」

そこに おとうさんと

おかあさんも やってきました。

そのとき、『そのしたのはこ…』

ねこが そっといいました。

おにいちゃんと いちごにしか

きこえなかったようです。

「おじさん そのしたの はこ…」

「お、これかい？」

おじさんは ひょいっと したにもっていた
もうひとつの はこを みせてくれました。

「まあ！！」「わあ！」

「おっきいー！」「ぴかぴかー！」



そこには いままで みたことのない
とっても おおきな いちごが ならんでいました。

「もぐ… とちおとめ」

「こっちは スカイベリーって いうんだって。」

おじさんに おしえてもらった いちごの なまえです。

「あら、もう おぼえたのね。」

「らいねんは いちごを そだててみようかなあ。」

おとうさんが つぶやきました。

「ほくも！ いちご てつだう！」

「いちこもー！！」





質・量ともに「日本一のいちご」

真岡市のいちごは、年間生産量がおよそ7,000トン、年間販売額がおよそ71億円です。(JAはが野調べ 平成26年産)
品種改良や栽培技術の向上に長年取り組んできた研究機関の方々や新鮮高品質の栽培指導、流通ルートを開拓した方々、そして真夏の炎天下での育苗や、厳寒の中での収穫作業などに励んだ多くのいちご農家の人たちの努力によって「日本一のいちご」を結実しました。



今、最も多く生産されているのがとちおとめですが、昭和30年代はダナーという品種が全国的に普及し、真岡でも急速に広がっていきました。そして昭和43年からずっと、いちご生産量日本一の座を守りつづけ、今でもおよそ500世帯のいちご農家さんが手塩にかけながら育ててくれています。

JAはが野 営農部
けんもく もりお
見目 守生さん

真岡のいちご栽培の歴史

真岡のいちごは昭和32年、市南東部にある東物井地区の農業研究に取り組む農家の人たちの手によって、栽培が開始されました。

その後、ビニールを使ったトンネル栽培やパイプハウス栽培などの研究を重ね、昭和59年ごろ、水を霧状にしてハウス内を温める「ウォーターカーテン」を導入しました。それにより、単棟ハウス栽培の低コスト省エネルギー化を実現するなど、めざましく発展してきました。

また、品種についても当初のダナー種から「宝交早生」、「麗光」を経て、昭和59年から「女峰」が本格的に栽培されました。平成8年からは、甘く粒も大きい「とちおとめ」が主要品種となり、現在はさらに粒の大きい新品种の「スカイベリー」も注目されています。

昭和31年のころ、父をはじめ、旧二宮町の農家数軒でいちごの栽培をスタートしたのが、真岡市のいちご発祥です。当時、足利市で唯一栽培していた方をオート三輪車で何度も訪ね、教えを請うたと聞いています。



いちご生産者
いの つとむ
猪野 力さん



いちごは
果実？
野菜？

知ってる？いちごの豆知識

「いちご」はバラの仲間です。食べ物としては「果物(果実)」に分類されますが、作物としては野菜に分類されます。このため「いちご」は「果実的野菜」とも呼ばれるんだよ。

いちごは
冬の
果実？

「いちご」は夏の季語。露地で育てたいちごは、初夏に真っ赤な実をつけます。ハウス「温室」栽培の普及などにより、秋から「いちご」が収穫できるようになりました。「いちご」に冬のイメージが定着したのは1980年代後半からで、クリスマスケーキの影響なんだよ。

とちぎ生まれの「いちご」

「いちご」といってもたくさんの品種(種類)があり、なかでも「とちぎ生まれのいちご」たちは、すぐれた特性を持っています。そんな、とちぎ生まれのいちごを紹介します。

とちおとめ

果実は「女峰」よりも大粒で甘みが強く、果肉がしっかりとしていることから、東日本中心に急速に作付面積が拡大しました。現在は、「女峰」の跡を継ぎ、いちごを代表する品種として国内で最も多く栽培されています。(1996年～)



とちおとめ(実物大)

スカイベリー

「とちおとめ」に比べて果実が極めて大きく、外観が優れ食味の良い新品种です。果実は大きな円錐形で、果皮は濃橙赤色でツヤがあります。糖度が高く酸味はやや低め。まろやかな甘味が特徴。今後期待される品種です。(2014年～)



スカイベリー(実物大)

とちひめ

大粒で甘みが強い半面、果肉が軟らかく、とてもデリケートです。栃木県内のみで栽培されています。(2001年～)

なつおとめ

夏から秋にかけて収穫できるいちごで、収量が高く、秀品率(正形果率)が高いのが特徴です。果実品質に優れ、断面は淡赤色で、スライスした際の見栄えもとても綺麗です。(2011年～)

女 峰

冬の早い時期から品質の良い実を沢山つける品種として育成されました。甘酸っぱい味の特徴で、さらには色が鮮やかで外観がよいため、ショートケーキなどにも使われていました。こうした優れた特性が高く評価され、「いちご」を代表する品種として2001年頃まで東日本の主力品種として栽培されました。(1985年～)



農業者だからできる、いちごを通じた食農活動を20年以上続けています。おいしいいちごを作ることはもちろんですが、農業の大事な役割を知ってもらうことも大切です。小学生の体験学習や高校生・大学生の研修の受け入れも積極的に行っています！

猪野さんちのいちご農園
いの まさこ
猪野 正子さん

両親がいちごの苗栽培を始めて24年。真岡市の苗を一律に引き受けています。寒い時季はハウスの中にさらにハウスを作ったり、ストーブで温めたり。大変ではありますが、日本一のいちごを支える、縁の下の力持ちとしてがんばります！

ストロベリーファームおあつか 代表
おあつか たかひさ
大塚 貴久さん



Ichiko and her family went to pick strawberries. While they were taking a break, a talking cat told them about how strawberries are grown, such as the tricks vinyl houses use to help plants survive the cold, and the way honeybees help. They met a man who was making "Skyberries," big, red, glossy strawberries.

"Ichiko" 全家来摘草莓。中途休息时，那只会说话的猫给Ichiko讲了如何种植草莓，比如改善用于耐寒的塑料大棚，或帮助蜜蜂传播花粉等。后来大家还遇到了种植红艳的大个草莓“天空莓”的大叔。

Ichiko e sua família foram colher morangos. Ao descansar, o gato falante explicou sobre a maneira de se cultivar os morangos, a função da estufa como proteção contra o frio, sobre o trabalho das abelhas etc. Depois, encontrou-se com o agricultor que cultivava um tipo de morango grande, vermelho e brilhoso, chamado "Skyberry".